

香川県保険医協会主催 歯科セミナーのご案内

高齢者の介護予防としての総義歯の役割

＝講演内容＝

超高齢社会が進む中で、2014年日本老年医学会が介護予防のキーワードとして「フレイル」（全身的な虚弱）、「サルコペニア」（加齢性筋肉減弱症）を提唱しました。

その名づけの親である飯島勝矢教授（東京大学）が、フレイルが進行する前に口から食べ物をこぼす、飲み込みにくい、滑舌が悪くなるなどの口腔機能低下したフレイルの段階を「オーラルフレイル」と名付け、この段階での対策が「フレイル」の予防になると推奨されています。

高齢になって歯を失っても自分の口で食べ、元気に外を歩き、自立した生活を過ごすには、しっかり噛んで食べてしっかりと飲み込める義歯を制作し、口腔機能の維持・向上することが歯科に求められています。

地域包括ケアシステムにおける歯科従事者は、飲み込み重視の嚥下にばかりに目を向けるのではなく、その前期の準備期（咀嚼）・口腔期の専門職としての役割を果たさねばなりません。

それには、先ずは義歯が入れられるように口腔機能を改善し、少なくとも「上は落ちない、下は浮き上がらない、痛くなく噛める・話せる」リハビリの装具としての義歯を提供が必要です。

口腔内だけをみて義歯を作製するのではなく、姿勢や食べ方・話しかなどの機能面をみれば、いろんな情報が読み取れます。

「どうして上手くいかないか」その問題点と対策についてお話しします。

皆様の明日からの臨床の一助になれば幸いです。

記

■ 日 時：2017年10月22日(日)
9:30～15:00

■ 講 師：三木逸郎先生（姫路市開業）

■ 会 場：ホテルマリンパレスさぬき
高松市福岡町2-3-4 Tel 087-851-6677

■ 参加費：歯科医会員 5,000円
未入会員 10,000円
技工士会会員 2,500円
※昼食付

■ 定 員：40名（先着順）

Faxでお申込のうえ、下記の口座へお振込みください

参加費振込先

百十四銀行 本店営業部 普通 0595754

香川県保険医協会 会計 梶 義照



講師 三木逸郎先生

1951年 姫路市林田町生まれ 山羊座 A型
姫路西高、大学時代はサッカー部に所属し、FW（レフトウイング）として活躍？大学1年生秋のリーグ戦でデビュー、ハットトリックが自慢、4年生で主将となるが、卒業以降はもっぱら観戦のみ。ゴルフ、海釣りにも興味があつたが、親の介護の経験から患者さんが「いつまでもご自分の口から食べる喜び」を味わって欲しいと思い、最近はもっぱら「食支援のできる義歯作り」に専念し、啓蒙活動をしています。

略歴

1976年 3月 大阪歯科大学卒業

4月 神戸大学医学部附属病院 歯科口腔外科在局

1980年 9月 三木歯科医院開設、現在に至る

著書

食べられる口づくり 口腔ケア&義歯（共著）医歯薬出版 2007 12

リハビリの装具として総義歯を機能させるには

総義歯難症例への対応、その理論と実際（共著）

デンタルダイヤモンド社 増刊号 2009 10

1枚の写真ではじまる12人の義歯臨床（共著）

デンタルダイヤモンド社 2010

お申込は香川県保険医協会まで Fax下さい fax 087-802-1336

2017年10月22日 歯科セミナー参加申込用紙

医療機関名	ご住所
ご氏名	Tel fax